

アユ情報 第3号

平成27年4月20日
栃木県水産試験場

1. アユ^そ遡上情報

アユの遡上状況についてお知らせします。

那珂川の状況 (4/17 現在)

- ・これまでのところ、栃木県内の那珂川ではアユの遡上は確認されていません。
- ・4月13日、16日、17日に茂木地区で遡上調査を実施しましたが、アユの遡上は確認できませんでした。



4/16 那珂川(茂木地区)

- ・茨城県内の那珂川では千代橋付近（河口から約30km）で4/14にまとまった遡上を確認されたようですので、まもなく栃木にも到達するのではないのでしょうか。

茨城県水産試験場内水面支場

H27年久慈川・那珂川アユ遡上速報第7号

県内河川、及び近県の状況 (4/17 現在)

- ・久慈川では2/25に堅磐堰（河口から約8km）で遡上を確認されています。

茨城県水産試験場内水面支場

H27年久慈川・那珂川アユ遡上速報第1号

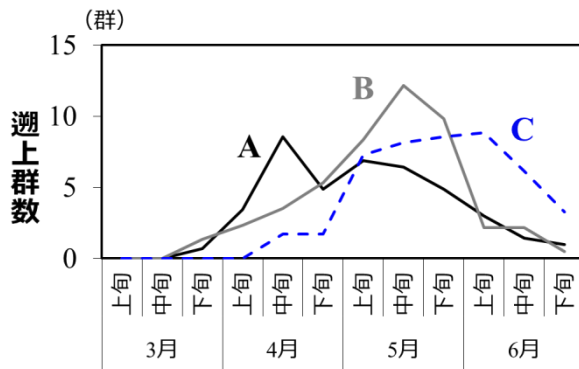
- ・多摩川ではガス橋付近（河口から約11km）で3/20に遡上を確認されています。

東京都島しょ農林総合研究センター 平成27年アユ遡上調査

豆知識～温暖化によってアユの遡上が遅くなる？～

気象庁によると、温暖化によって日本のサクラの開花日は10年あたり0.9日のペースで早くなり、カエデの紅葉日は10年あたり3.0日のペースで遅くなっています。つまり、昔に比べて夏が長くなってきています。

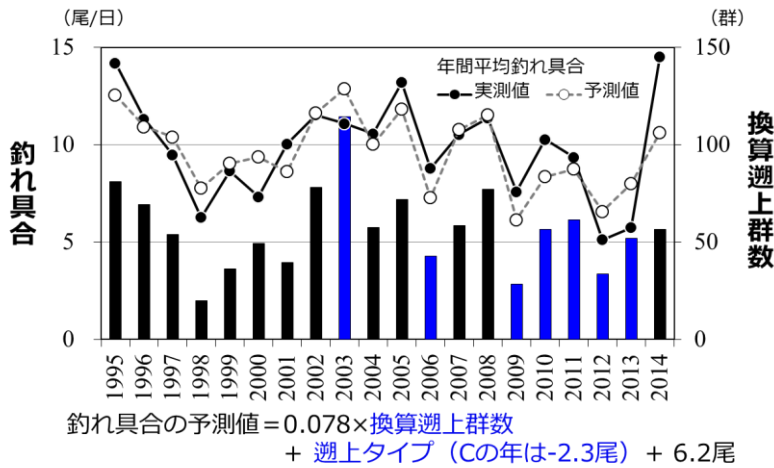
年	タイプ
1995	A
1996	B
1997	A
1998	A
1999	A
2000	B
2001	B
2002	B
2003	C
2004	B
2005	A
2006	C
2007	A
2008	B
2009	C
2010	C
2011	C
2012	C
2013	C
2014	A



アユの成熟は水温が高いほど遅れるため、温暖化によって夏が長くなることは産卵の遅れやそれに伴う遡上の遅れを引き起こす可能性があります。実際に、アユの遡上が遅れる傾向が全国的に確認されており、那珂川でも近年遡上が遅れる傾向が見られます(図1)。

図1 那珂川における遡上パターンの推移

遡上が遅れた年は、遡上群数(換算遡上群数*を指す)が同じでも、釣れ具合が平均的に1人1日あたり2.3尾低下することが分かっています(図2)。



アユの遡上を人為的に早くすることは、現状ではできません。そこで那珂川では、遡上の遅れにより釣れ具合が低下しないように、早期放流(4月の早期放流尾数を増やす)や放流方法の工夫(放流時の温度合わせや畜養放流)、カワウ・コクチバス対策などが実施されています。

図2 年間平均釣れ具合の実測値と予測値

(*換算遡上群数: 帯状の群れを1.8群として換算した年間遡上群数)

連絡先 栃木県水産試験場

電話 0287-98-2888 FAX 0287-98-2885

ホームページアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g65/index.html>